

松田町 エイジフレンドリーシティ行動計画

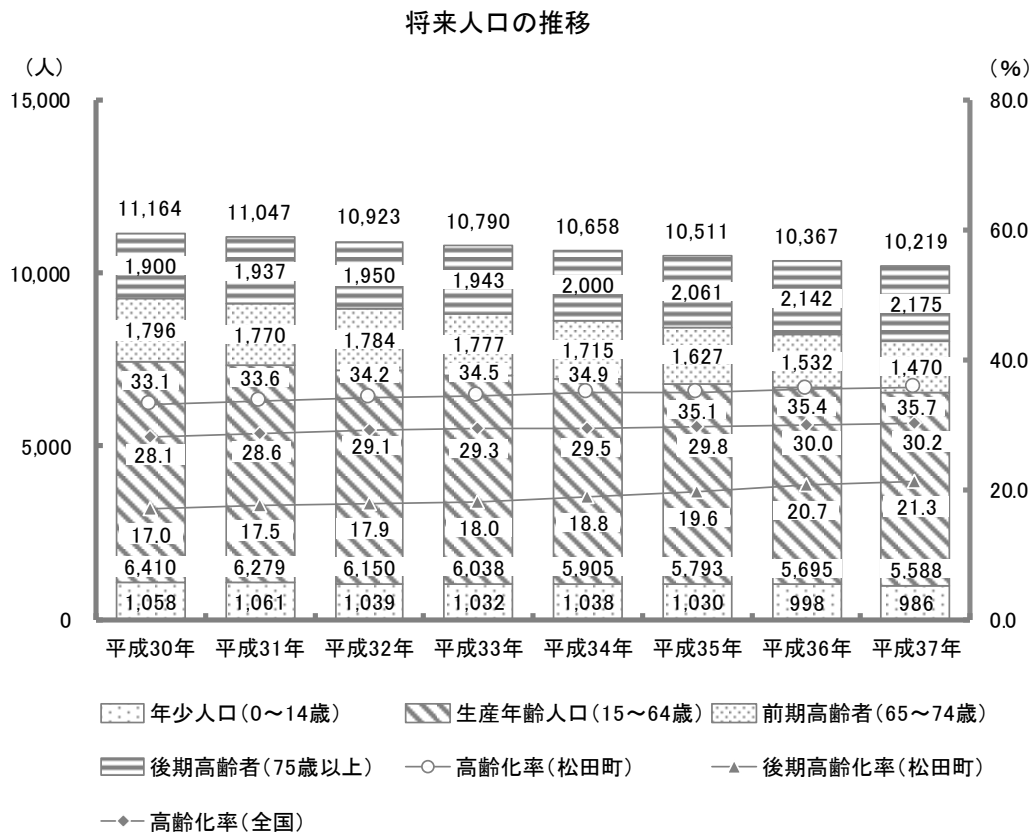


1 将来人口および高齢者人口の推移

将来人口推計は、平成30年で11,164人となり年々減少すると推計され、高齢者人口では3,696人となっています。

団塊の世代が後期高齢者に入る平成37年には総人口が10,219人と減少しつづき、高齢者人口が3,645人と減少するものの、後期高齢者では急増し、平成30年と比べると1.14倍となると推計されます。

高齢化率は上昇を続け、平成37年には35.7%となると推計されます。また、全国の高齢化率より高い水準で推移すると推計されます。



2 要介護（要支援）認定者数、認定率の推移

要介護（要支援）認定者数は、年々増加しており、平成29年には556人となっています。要介護等認定率をみると、平成29年では15.1%となっており、平成25年と比較すると1.3ポイント増加しています。また、全国の要介護等認定率に比べ低く、平成29年度で3.0ポイントの差になっています。

3 松田町における課題

課題1 介護予防も含めた総合的な健康づくりの推進

- ライフステージに応じた、健康づくりができるようにするため、また病気の早期発見・早期治療につなげるため、定期的な健康診査の受診や各種がん検診の受診の向上に向けた取り組みを継続・強化する必要があります。
- 高齢者が培ってきた経験や能力を活かしていくため、今後も、シルバー人材センターの機能充実や高齢者の継続雇用、就労促進の支援などが引き続き求められます。
- 「元気高齢者」を増やすよう、地域のネットワークとの連携の強化や健康づくり事業体制の強化が課題です。
- 地域のグループ活動等への参加意欲がある人が多いため、シニアクラブ松田や地域の茶の間活動を積極的に支援するなど、引きこもり防止を図る必要があります。

課題2 地域包括ケアの推進

- 今後高齢者の更なる増加が見込まれる中で、地域包括支援センターの機能強化とともに、地域の各団体やさまざまな専門職が連携した高齢者が地域で安心して暮らせる体制づくりが求められます。
- 地域ケア会議を活用し、個々の事例をもとに、地域の課題の把握、課題解決に向けた取り組みへとつなげるために地域ケア会議のより一層の充実が求められます。
- 終末への準備だけでなく、前向きな人生を送っていくための教育等の支援の充実が重要です。

課題3 認知症予防対策・認知症高齢者施策の充実

- アンケート調査結果によると今後の不安について、「認知症状への対応」、と答えられた方が多く、認知症予防の正しい知識の普及啓発や十分な環境の整備（相談体制、家族支援など）が求められます。
- 認知症高齢者の増加が予測される中、早期発見・早期治療につなげるための医療との連携も含めた、認知症高齢者を支える地域のネットワークの強化が求められます。

課題4 一人ひとりにあった介護サービスの充実

- 介護保険制度の定着や認定者数の増加等によりサービス給付費は年々増加しており、それに伴ってサービスの質の向上、事業者や介護支援専門員等の資質の向上が求められています。
- サービスを必要とする方が必要な時に利用できるようにホームページや介護サービス利用についての案内パンフレット、出前講座等で周知し、利用促進を図ることが必要です。
- 要介護(要支援)認定者等の増加等による介護保険料の高騰も今後考えられるため、引き続き、介護給付費等の適正化に努める必要があります。

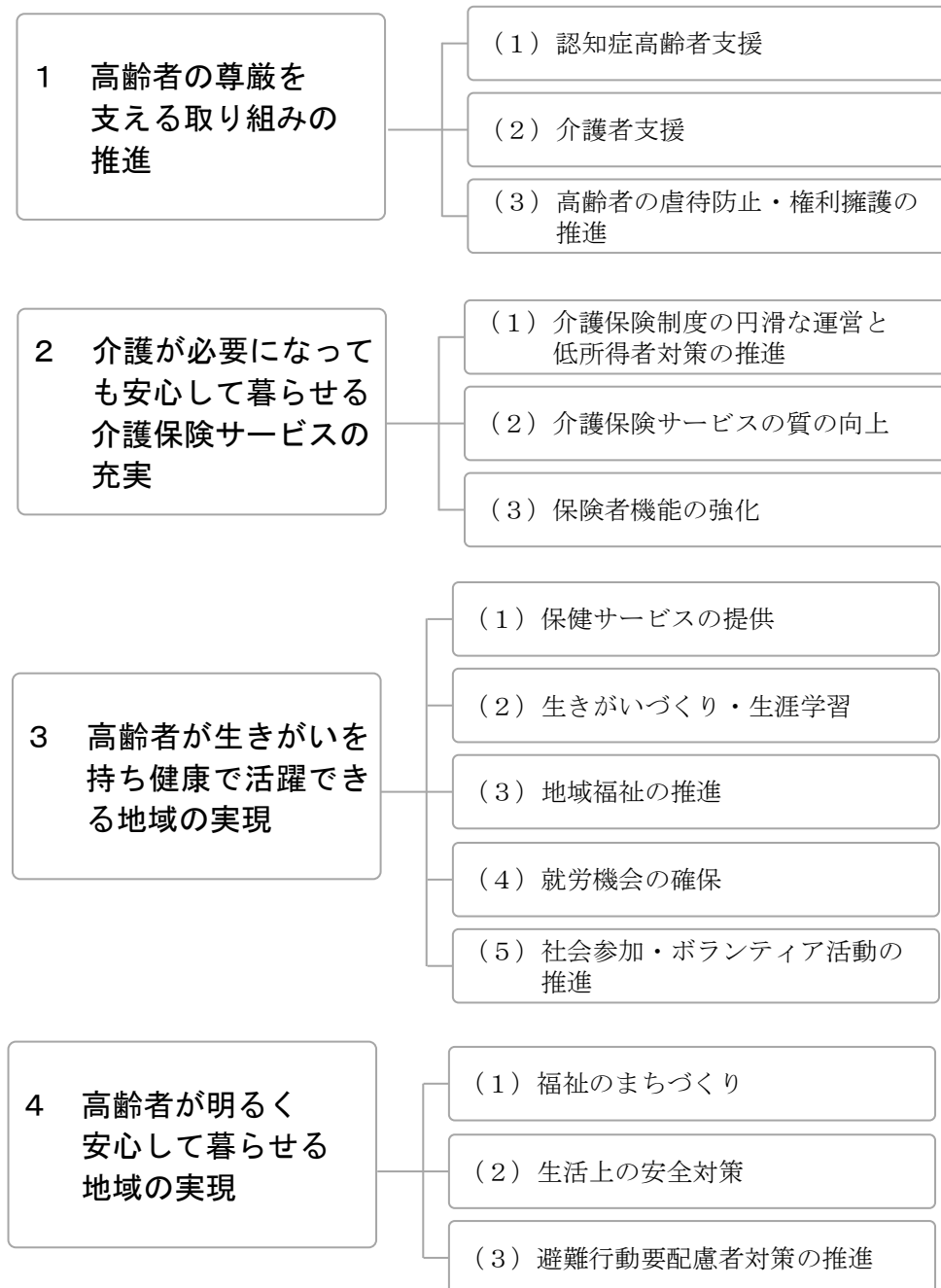
課題5 在宅支援の充実

- 高齢者の外出を支援することは、高齢者の自立した生活を支援することにつながるため、支援が必要です。
- 高齢化の進展による在宅要介護者の増加に伴い、介護者の精神的、身体的、経済的な負担を軽減するため、支援の充実が求められます。
- 今後も高齢者独居世帯や高齢者のみ世帯の増加が予測されている中、地域住民による見守り活動などを支援し、高齢者が安心・安全に暮らせるようなインフォーマルサービスの充実が必要です。

4 エイジフレンドリーシティの取り組みを進めるうえでの基本理念

〔基本目標〕

〔基本施策〕



5 8つのトピックに基づく取り組み事項

松田町では高齢者の状況及び取り組みを進めるうえでの基本理念を踏まえ、エイジフレンドリーシティの8つのトピックに基づいて、以下の取り組みを推進していきます。

(1) 屋外スペースと建物

- ・公共施設のバリアフリー化を推進
- ・ウォーキングコースの設置・管理
- ・未病の見える化コーナーの設置・運営

(2) 交通機関

- 高齢者に優しい交通システムの運営
 - ・バス路線を維持するための補助を実施
 - ・高齢者バス定期券助成事業の推進
 - ・駅前広場に休憩お休み処を設置
 - ・イベント時における高齢者向けバスやタクシーの運行
 - ・社会福祉協議会等における移送サービス事業への支援

(3) 住居

- ・高齢者の住まいに関する情報提供や相談活動の充実
- ・民間による高齢者向け住宅の整備について推進
- ・介護保険における福祉用具の活用や住環境整備の支援

(4) 社会参加

- ボランティア活動の推進
 - ・高齢者がいつまでも元気で暮らしていくための生きがいづくりと社会参加できる体制整備を関係機関と協働して推進
 - ・豊富な知識や経験を持つ高齢者等の地域コミュニティネットワークへの主体的な参画を支援

(5) 尊厳と社会包摂

- 認知症高齢者支援
 - ・認知症サポーター養成講座にて認知症への正しい理解の普及啓発
 - ・認知症ケアパスを作成し、認知症の状態に応じた適切なサービス提供の流れを確立
- 高齢者虐待防止対策の推進
 - ・地域での見守り活動の重要性について周知・徹底
 - ・関係機関との連携、研修などに努め、早期発見のためのネットワークを強化
 - ・広報紙や人権学習等の機会を通じて啓発を行い、発生防止、早期対応を推進

(6) 市民参加と雇用

○就労機会の確保

- ・シルバー人材センターの継続支援

(7) コミュニケーション

○介護者支援

- ・介護に携わる家族の負担を軽減するための支援の充実
- ・家族介護者を対象に適切な介護知識・技術等を習得する講習会や介護者間の交流会

(8) 地域社会の支援と保健サービス

○認知症高齢者を支える地域支援ネットワーク体制整備

○介護保険制度の円滑な運営と低所得者対策の推進

- ・サービス利用者の見込みに応じた量の確保とその安定的な供給体制の確保
- ・介護保険制度のより一層わかりやすい情報提供
- ・被保険者の負担能力に応じた保険料段階の設定と低所得者の保険料の軽減割合の拡大

○介護保険サービスの質の向上

- ・地域包括支援センターの機能強化
- ・さまざまな専門職の連携強化

○保険者機能の強化

- ・介護給付費の適正化

○保健サービスの提供

- ・健診を受けやすい体制整備を行い、定期的に受診をして疾病の早期発見、予防が行えるよう周知

○健康寿命の延伸にむけた未病改善の取り組み

- ・広報やパンフレットを通じて高齢者に対し、健康知識のより一層の普及啓発に努めることで、高齢者自身が主体的に健康づくりに取り組めるようにサポート

○医療と介護の連携強化

- ・足柄上地区在宅医療・介護連携支援センターへの機能強化
- ・増大する在宅医療のニーズに対し、医師会等と連携し、往診が可能な医療機関の情報収集と体制づくりに努める